

府養研ニュース

2003年11月号

このページでは要点だけをお知らせしています。
詳細は配布案内や本紙PDFを開くか、ホームページをご覧ください。
ホームページのURLは <http://www012.upp.so-net.ne.jp/tamtam/> です。

このニュースはEメールで配信されています。府養研ニュースは各種案内等の事務連絡と一緒に、毎月第1月曜日にEメールで配布されています。第1月曜が祝日であれば火曜日発行になります。来月12月号は、12月1日(月)発行です。一部メール網がまだ整備中もしくは検討中の市町村は、郵送または逡送されています。

平成15年10月6日発行 大阪府養護教育研究会(広報部)

事務局 堺市立茶山台小学校 会長 本郷 くみ 〒590-0115 堺市茶山台2-5-1

問い合わせ・意見はMaiで fuyouken-owner@egroups.co.jp

研究部 ICT活用プロジェクト研究会

終了 **10月21日(火)の報告**
大阪府立茨木養護学校にて

さまざまな入力支援機器やオンスクリーンキーボードなどを活用しながら、文章を作成している授業
パワーポイントでプレゼンテーションを作成している授業
上肢に障害がある児童・生徒のコンピュータ利用」と言うテーマの話(山本) 資料は、「情報支援のお道具箱」
<http://open.prop.or.jp/at/index.html>

乞うご期待！案内は再送
11月28日(金)
枚方市立第二中学校にて

マウスのクリックをスイッチにかえてみませんか？
クリックが難しい子どもに押しやすいスイッチを提供しましょう。どんな工夫が可能でしょうか？
詳細説明文はこちら

研修部

テーマ別研修会

行動に様々な問題を示す子どもたちの理解と援助 Q&A
12月25日 午後2時～4時半 八尾プリズムホール

行事部

アンケートありがとうございました。
ただいま、府教育委員会事務局障害教育課との懇談会に向けて、質問内容を検討中です。

広報部

2003年度の研究紀要の論文執筆者が決まりました。

ぐるぐるクリック 二次配布と正誤について

各地区から

堺市養護学校・養護学級合同スポーツ大会報告

東大阪市養研 LD講演会予定 12月10日(水) 竹田契一 イコーラムホール

情報提供

自閉症コーナー

手のひらVOCA「あのね」

詳細がスリーテンのホームページにあります。
http://www.three-ten.co.jp/three-ten/what_new/top.html

視覚支援関連リンク

@nifty で「視覚支援・自閉症」で検索すると...

講演会

親の会 はぐくみ

[12月15日\(月\) 奥平俊六\(ダダ父\)高槻市生涯学習センター](#)

自閉症協会奈良支部

<http://www.eonet.ne.jp/asn/>

11月30日(日) 中山清司 奥平俊六 奈良県橿原文化会館

ICT 活用プロジェクト研究会報告 「養護教育におけるコンピュータ活用の実際」

10 月 21 日（火）大阪府立茨木養護学校のご協力を得て、開催しました。

前半の部は「重度・重複コース」と「情報コース」の授業参観をさせていただきました。

「重度・重複コース」の授業では、生徒が、さまざまな入力支援機器やオンスクリーンキーボードなどを活用しながら、文章を作成している授業でした。実際に障害のある生徒に合わせた工夫をしながら、パソコンを活用している様子を見せていただけたことは、貴重な機会となりました。「情報コース」の授業では、パワーポイントでプレゼンテーションを作成している授業でした。新設された、養護学校高等部の「情報コース」での取り組みに触れる機会となりました。また、パソコン室に並べてあった、手作りスイッチをはじめとするさまざまな機器は、日々目の前にしている児童・生徒たちを思い浮かべながら、自分でも作成してみようかと思わせるものが多数ありました。

後半の部は、各学部の取り組みの紹介と山本先生から「上肢に障害がある児童・生徒のコンピュータ利用」というテーマでお話いただきました。

各学部の取り組みの紹介では、茨木養護学校の情報教育全体の紹介や児童・生徒に合わせた工夫などの紹介などでした。小型キーボードをブックエンドに貼り付けて活用するまでに考えてきた過程の話、おもちゃにスイッチをつけて遊ぶことからスイッチの活用について取り組んでいく話など、実際に活用している機器や教具を提示して具体的な内容を交えての説明でした。

山本先生からは、「Windows のユーザー補助機能のように、OS に標準で装備されている機能の活用」、「マウスが難しいときにトラックボールの活用、Windows のマウスキー機能を用いテンキーの活用、ジョイスティックやゲームパッドの活用」、「通常のキーボードが使いにくいときにキーガードやオンスクリーンキーボードの活用」、「単語予測機能のあるソフトの活用」など、機器やプロジェクターでの実際の提示しながらの話でした。また、通常学校を支援している話もあり、校長を通じて要請があれば、学校に出向いたり、茨木養護学校に来ていただいていた支援をします、と言うありがたい話もありました。実際には、出向いたときには、持参できる機器が限られているので、対象児童・生徒や保護者とともに茨木養護学校に来ていただいた方が、より良いとのことでした。

天候も悪く、平日の 2 時からの研究会、とすることで参加者が 18 名と少なかったことは残念ではありますが、参加された方々にとっては、日々のヒントが得られたものであったのではないのでしょうか。また、授業参観を始め全面的にご協力いただいた茨木養護学校には感謝いたします。ありがとうございました。

最後に、参加者の感想から

「数々の入力補助具はたいへん参考になりました。ありがとうございました。障害は多種多様で、さらに多くの入力補助具が必要になります。今後ともよろしく願います。」

「実際の授業がどのように行われているのかを参観させて頂き、とても有意義でした。」

「山本先生のお話はいつも内容豊富で非常に勉強になります。特にその話題と事物に限らず、他への応用を思いつかせてくれるような本質的な知識を得ることができてうれしいです。」

2003年11月10日

(再送)

大阪府養護教育研究会会員様
北河内養護教育研究会会員様
枚方市養護教育研究会会員様

大阪府養護教育研究会
会長 本郷 くみ
北河内養護教育研究会
会長 柳本 光久
枚方市養護教育研究会
会長 角田 圭一

ICT活用に関する研究会のご案内 マウスのクリックをスイッチにかえてみませんか

大阪府養護教育研究会研究部 ICT活用プロジェクト、北河内養護教育研究会、枚方市養護教育研究会の共同開催で、ICT活用に関する研究会を下記要領で開催いたします。

ご多忙の時期とは存じますが、多数ご参加いただき、障害のある子どもたちの教育に活かさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

記

- テーマ マウス改造講座
障害のある子どもに使いにくいマウスのクリックを、使いやすい大きな
スイッチに換えられるようにマウスを改造します
- 日時 2003年11月28日(金) 15:00~17:00
会場 枚方市立第二中学校 技術室
〒573-0085 枚方市香里園東之町 20 - 26 tel 072-832-3624
京阪「香里園」下車 北東へ徒歩 15分
京阪「香里園」下車 京阪バス1・9系統「香里ヶ丘」下車北へ10分
京阪「枚方市駅」下車 京阪バス1・9A系統「香里ヶ丘」下車北へ10分
- 講師 大峠 貴弘 先生 (大阪府立茨木養護学校教諭)
- 内容 1) 改造マウス使用アイデア
2) マウス改造実習
- 参加費 無料。ただし、材料費実費(1100円程度)
- 申込み 11月20日までに、下記に e-mail または Fax にて連絡ください。
材料の準備の都合がありますので、よろしく願いします。
- 連絡先 田村 真一 (高槻市立養護学校) Tel 072・681-7910
Fax 072・681-792
- 備考 会場までは公共交通機関のご利用をお願いいたします。
会場までの道順等は、地図や地図検索サイト等でお調べください。

マウス改造って 何？

11月28日のマウス改造講座に関して

「せめてクリックだけでもできたら……」

大阪府養護教育研究会 50周年記念 CD-ROM に入ってる、クリックをすると花火が打ち上げられたり、もぐらたたきができる「くるくるクリック」のように、クリックだけで楽しめるソフトがあります。Web に目を移すと「胡桃の森」(<http://kuruminomori.com/>)や「デジタル絵本サイト」(<http://www.e-hon.jp/index.htm>)このように、クリックをするだけでお話を進めていけるサイトがあり、クリックだけで楽しめるソフトも公開されています。また、パワーポイントで作った絵本などは、クリックでページが送れます。クリックだけでもできれば、楽しめることがあります。

でも、クリックが難しい子どもがいます。「せめてクリックだけでもできたら」と思ったことはないでしょうか。

マウスを改造して、クリックをスイッチに

11月28日のマウス改造講座では、右の写真のようにマウスを改造して、スイッチがつけられるようなジャックをつけます。ジャックにつないだスイッチを押すとクリックができるようになります。

難しかったクリックが、スイッチを押すことによってできることで、広がる世界があります。

子どもたちが自分で Web 絵本をめくったり、ソフトで遊んだり、パワーポイント教材をしている姿を想像してみてください。また、HeartyLadder (<http://www.try-net.or.jp/~takaki/hearty/index.html>)のように、スキャン機能がついたソフトを使って、文章を打つことができる可能性が広がります。さらに、近々、スキャン機能がついた Web 閲覧ソフトも市販されると言う情報もあります。改造マウスを活用してひとりでインターネットを楽しむ姿が見れるかもしれません。



マウス改造講座にご参加ください

11月28日(金)15:00～枚方市立第二中学校で行うマウス改造講座は、上記のようにマウス改造する実習です。そして改造したマウスは持ち帰って、Windows98以上のOSのパソコンとスイッチがあれば、すぐに使えます。

ちょっとした工夫で、子どもたちができることが増えることで、広がる可能性。難しいかなと思わないで、多数ご参加ください。

なお、マウス改造講座の詳細は、別紙案内、または、府養研 HP の ICT 活用プロジェクトのページ (<http://www012.upp.so-net.ne.jp/tamtam/ict.htm>) をご覧ください。

(文責：府養研 ICT 活用プロジェクト事務局 代表 田村 真一)

各学校長 様
障害教育担当者 様

平成15年11月10日
(再送)

大阪府養護教育研究会
会 長 本郷 くみ

府養研 テーマ別 研修会

『行動に様々な問題を示す子どもたちの理解と援助 Q&A』

府下の障害教育に関わる先生方から、日頃の指導に関わる疑問や悩みを相談できる機会がほしいとのご希望をお聞きしておりました。

昨年は府養研50周年記念大会の中で、今日的な課題についての分科会を設定しましたが、今年度は新しいテーマも加えて、一昨年度に引き続き『テーマ別研修会』を計画致しました。

助言の先生方のお話をお聞きしながら、日頃悩んだり困ったりしていることを出し合いたいと思います。養護学級担任の先生方だけでなく、通常の学級の先生方も、是非ご参加下さいますよう、ご案内致します。

1. 日 時 平成15年12月25日(木)午後2時~4時30分
(受付 午後1時30分より)

2. 場 所 八尾市文化会館(プリズムホール)
八尾市光町2丁目40番地 (0729-24-5111)
近鉄大阪線八尾駅下車 徒歩5分
(上本町駅より準急約15分)

3. 申込先 テーマ別に各分科会担当者まで、
FAXでお申し込み下さい。
ただし、質問がある方は封書にてお送り下さい。

4. 締め切り 11月28日(金)

研修会場には、駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

【申込み・問い合わせ先】

分科会	学 校 名	担当者	住 所	FAX番号
第1分科会	枚方市立 川越小学校	関 紀子	〒573-0081 枚方市釈尊寺町30-1	072-854-0524
第2分科会	貝塚市立 第一中学校	出羽加代子	〒597-0071 貝塚市加神1-5-1	0724-22-1271
第3分科会	堺市立 英彰小学校	大村葉子	〒590-0961 堺市寺地町西4-1-1	072-221-8667
第4分科会	藤井寺市立 道明寺中学校	細井孝昭	〒583-0007 藤井寺市林6-2-21	0729-38-6985
第5分科会	吹田市立 高野台小学校	馬場頼子	〒565-0861 吹田市高野台2-16-1	06-6871-0545
第6分科会	八尾市立 安中小学校	土井徳生	〒581-0086 八尾市陽光園2-7-33	0729-92-1974

各分科会のテーマと助言の先生方

第 1 分科会	A D H Dといわれる子どもたちの理解と対応
A D H Dと言われている子どもとは、どのような特徴の子どもたちのことをいうのか等について、その概論も兼ねて相談があれば。 助言 関西医科大学附属香里病院 小児科部長 安原昭博 先生	
第 2 分科会	L Dと言われる子どもたちの理解と対応
主に通常学級の中でのL Dと言われている子どもたちに対して、どのように理解し対応していけばよいのかなどについて相談があれば。 助言 堺市立向丘小学校 教諭 米田和子 先生	
第 3 分科会	行動障害（問題行動）を示す子どもたちの理解と対応
その行動のとらえ方を中心とした質疑応答。生活の中での様々な理解しにくい行動をどう捉えて、指導をすすめればよいのか。 助言 兵庫教育大学 助教授 井上雅彦 先生	
第 4 分科会	自閉傾向を示す子どもたちの理解と対応
自閉といわれる子どもたちの特性と理解、および指導のあり方について。 助言 百舌鳥養護学校 教諭 金井孝明 先生	
第 5 分科会	肢体不自由の子どもたちの理解と対応
肢体不自由の子どもたちの示す特性と理解、および指導のあり方について。 助言 みどりヶ丘病院 理学療法士 淡路一裕 先生	
第 6 分科会	性に関する課題のある子どもたちの理解と対応
発達に障害のある思春期の子どもたちの性的な悩みについての理解と、実際の指導について。 助言 大阪知的障害者育成会地域支援担当 中村昭代 先生 日本自閉症協会大阪支部 大橋一予 先生	

----- 切り取り線 -----

府養研テーマ別研修会 参加申込と質問内容

宛 先	第 () 分科会担当	市立	学校	先生 宛
参加者氏名				
所 属 校	市立	学校		
連 絡 先	TEL	FAX		
<p>以下は質問のある方のみお書き下さい。質問内容は、学年・組・性別・障害状況・問題となる行動などを、簡潔・具体的にお書き下さい。この欄に記入された方は、個人情報保護の観点から、封書にて郵送して下さい。スペースが足りない場合は、適当な用紙をご利用下さい。</p>				

各部より

研修部 テーマ別研修会(12月25日)の案内を再送します。切は今月28日です。

行事部 府教委との懇談会にむけて準備中です。アンケートありがとうございました。

広報部

2003年度研究紀要執筆者について

2003年度研究紀要の各支部論文執筆者が決まり、現在執筆いただいております。

豊能支部	松岡 圭子	能勢町立 岐尼(きね)小学校
三島 支部	池田 恭子	島本町立 第2小学校
北河内支部	草薙 正己	交野市立 岩船小学校
中河内支部	井川 百々代 土井 徳生	東大阪市立 西堤小学校 八尾市立 安中小学校
南河内支部	清水 初穂	富田林市立 富田林小学校
堺支部	金井 孝明先生	堺市立 百舌鳥養護学校
泉北支部	松田 幸子 浅井 良見	和泉市立 緑が丘小学校
泉南支部	西村 英喜	泉佐野市立 長南中学校

執筆者の先生方、大変なお仕事をありがとうございます。

今年度研究紀要(CD-ROM)は今年度中の発行をめざしています。

くるくるクリックの二次配布と正誤について

2002年度CD-ROM内のくるくるクリック(学習プログラム)は大阪府(市内のぞく)の各校配布に関して、府養研が府教育センターより許諾いただいておりますが、二次的な配布に関しては、必ずCD内の申請書により、センターの許諾を得るようにして下さい。また、オリジナルはマッキントッシュでも自動立ち上げ(ハイブリッド版)で可愛いラベルが貼られています。(作者のみ供給可能)

地下鉄ソフトの駅名、「長田ながた」が「おさだ」になっている件はお知らせしましたが、他にも、地下鉄中央線の深江橋の駅をクリックして表示されるのが、千日前線の「新深江 しんふかえ」になっています。それと、「コスモスクエア駅」が中央線に含まれていません。

改訂版では訂正される予定です。

各地区から

堺市 『みんな なかよく げんきに たのしく』

堺市養護教育研究協議会

養護学校・養護学級 合同スポーツ大会

10月16日(木) 鴨谷体育館

10月17日(金) 大浜体育館

夏の「合同宿泊訓練」で知り合った友だちと、
また会えるのを楽しみにしてきました。午前中
は、いろんな種目に分かれて競技しました。
午後からは、交流レクリエーションでバルーンや
風船競技をしました。



200名以上の中学生が参加しました。

最後には、表彰式もあり、ひとりひとりの努力を
たたえ大きな拍手で終わりました。

バルーンと表彰式の写真です。



東大阪市 LD講演会「これからの特別支援教育と軽度発達障害」

東大阪市養護教育研究会

講師 竹田契一 先生 (日本LD学会副会長 大阪医科大学LDセンター)

平成15年12月10日(水) 午後2時50分~5時

イコーラムホール(東大阪市男女共同参画センター)

近鉄奈良線若江岩田駅「希来里」6階

自閉症コーナー

手のひら VOCA 「あのね」

<説明> 押した字や文章を発声してくれる、トーキングエイド等のVOCA、会話支援機器が既
にありましたが、肢体不自由に適した大きさであり、自閉症の人が使うにはもう少し小型なもの
が望まれていました。これは、PDA（小型携帯端末）をベースとしたもので、かなり持ち運び
に便利で、常に腰にぶら下げていても負担にならないようです。

詳細が発売元のスリーテンのホームページにあります。

http://www.three-ten.co.jp/three-ten/what_new/top.html

視覚支援（自閉症）に関するリンク

自閉症の支援方法として視覚に訴える方法はかなり一般にも知られてきています。個々にあつた具体的な方法についてはなかなかアレンジが難しいと思いますが、いろんな実例を見ていくことで参考になることも多いので、府養研ニュースでもそういった例を取り上げていければと思います。以下に@niftyでの検索項目に「自閉症 視覚支援」の語句を入れてヒットしたホームページ・資料の一部をあげてみます。

<http://member.nifty.ne.jp/ohmori/index.htm> 障害児教育支援機器情報

<http://www.geocities.co.jp/NeverLand-Mirai/9569/> 絵カードのおうち

<http://www.niji.or.jp/home/xicczt/> 自閉症児ノブの世界

<http://homepage2.nifty.com/kumanomi526/> 自閉症児絵の世界

<http://homepage1.nifty.com/ken-2/index.html> 自閉症の子どものクラスルーム・研究科

<http://members.jcom.home.ne.jp/banira-a/index.htm> Fighting mom

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/atoz3/ask/siryou/sikaku.html> 村松陽子さんの資料

<http://homepage1.nifty.com/kanaipage/index.html> 金子孝明 My Homepage

<http://www2.odn.ne.jp/tensin/index.html> 天真爛漫

<http://ww3.tiki.ne.jp/~teppey/index.htm> てっちゃん通信

<http://www.nucl.nagoya-u.ac.jp/~taco/dada/> ダダ父通信

<http://www.biwa.ne.jp/~kaize/index.htm> かいぜ寮

保護者がお家で取り組まれているもの、教師が研究されているもの、施設、研究者などいろいろ見つけることができます。それぞれにもリンク集を持つページもあるので、たどっていけば、かなり膨大な資料を見ることができます。使える絵をフリーで提供してくれているページもあります。ルールを守って活用しましょう。

他団体の研修会紹介

奈良県自閉症協会 第 5 回講座

11 月 30 日 (日) 9:30 受付

奈良県橿原文化会館 橿原市北八木町 3 丁目 65-5

0744-23-2771 URL <http://www4.kcn.ne.jp/~kashibun/>

近鉄大和八木駅より徒歩 3 分 JR 畝傍駅より徒歩 10 分

10:00 ~ 12:00	午前	「自閉症の人の余暇と社会性の支援」	中山清司	社会福祉法人 横浜やまびこの里
13:00 ~ 15:30	午後	「自閉症児が育つということー教育と地域支援ー」 ダダくんと暮らしー本人支援と地域支援	奥平俊六	「ダダ父通信」 丹波自閉症協会会長 日本自閉症協会出版部委員

参加費は奈良県自閉症協会会員以外は 5 0 0 円だそうです。託児の受け付けは終了。

詳細は <http://www.eonet.ne.jp/~asn/> (奈良県自閉症協会)

自閉症の人のバリアフリーを考える親の会 はぐくみ

保護者におすすめ

12 月 15 日 (月) 9:30 ~ 11:30

大阪大学大学院教授 奥平 俊六 氏

テーマ (仮題) 「自閉症の正しい理解と支援を家庭から...」

生涯学習センター 多目的ホール 2 階 (高槻市総合センター内 高槻市桃園町 2 - 1)

参加費 1,000 円(資料代込) 事前申し込みはありません。当日会場で受付け致します。

(先着 300 名。託児は行いませんのでご了承ください。)

問い合わせは 自閉症の人のバリアフリーを考える親の会 はぐくみ

TEL : 090-9982-5024

MAIL : hagukumi2003@yahoo.co.jp

ダダ父さんの
実践から学ぶ

自閉症の正しい理解と支援を家庭から…

現在の社会や教育において、自閉症への誤解や偏見が多い中、正しい自閉症の理解を深め適切な支援をしていくために、まず親が子どものありのままを受け止め、家庭において将来への自立に向けた支援をしていく事が大切であると考えます。そうした具体的な支援について、奥平氏のお子さんへの実践をじっくりとお話していただき、子どもの力を伸ばす適切な支援を考えていきたいと思えます。ホームページ「ダダ父通信」で有名な奥平氏の講演を高槻で聴ける大変貴重な機会ですので、お誘い合わせの上ぜひご参加ください。

講 師 大阪大学大学院教授 奥平 俊六 氏

テーマ (仮題) 「 自閉症の正しい理解と支援を家庭から… 」

日 時 平成15年 12月 15日(月) 9:30～11:30

会 場 生涯学習センター 多目的ホール2階
(高槻市総合センター内 高槻市桃園町2-1)

参加費 1,000円(資料代込)
事前申し込みはありません。当日会場で受付け致します。
(先着300名。託児は行いませんのでご了承ください。)

主催・企画 自閉症の人のバリアフリーを考える親の会 はぐくみ

後 援 高槻市教育委員会

問い合わせ 自閉症の人のバリアフリーを考える親の会 はぐくみ

TEL : 090-9982-5024

E-MAIL : hagukumi2003@yahoo.co.jp